

木部

公共仕様No.
DNT-改修・13-1-04

7章13節：木部ラッカーエナメル塗り(LE) 木部ラッカーエナメル塗り

使用材料一覧表

| 規格 一般名称 | 商品名 | ホルムアルデヒド 放散等級 | 希釈剤 |
|--------------------------|------------|----------------------|-------------|
| 1 社内規格※1 ニトロセルロースラッカー | DNTラッカーECO | F☆☆☆☆ (自主管理登録申請中) | ラッカーシンナーECO |

※1: JIS K 5531の性能試験項目には社内試験で合格していますが、当社ではJIS K 5531の新JISを取得していません。

塗装仕様

表7.2.1 木部の下地調整【RA種】

| 工程 | 塗料その他 | | | 面の処理 |
|------------|------------------|--------------|------|-----------------------------|
| | 規格番号 | 規格名称 | 種類 | |
| 1 既存塗膜の除去 | — | | | スクレーパー、研磨紙等により、全面除去する。 |
| 2 汚れ、付着物除去 | — | | | 木部を傷つけないように除去し、油類は溶剤等でふき取る。 |
| 3 研磨紙ざり | 研磨紙P120～220 | | | 露出素地面、既存塗膜面を研磨する。 |
| 4 節止め | JASS 18 M-304 | 木部下塗り用調合ペイント | 合成樹脂 | 節及びその周囲にはけ塗りを行う。 |
| | セラックニス | | | |
| 5 穴埋め | JIS K 5669 | 合成樹脂エマルジョンパテ | 耐水形 | 割れ、穴、隙間、くぼみ等に充填する。 |
| 6 研磨紙ざり | 研磨紙P120～220 | | | 穴埋め乾燥後、全面を平らに研磨する。 |

(注) 1.木部に新規に塗装を行う場合は、RA種(不透明塗料塗りの場合)又はRB種(透明塗料塗りの場合)とし、工程1を省略し、工程2と3の間にやに処理を行う。

2.やに処理の面の処理は、やにを、削り取り又は電気こて焼きのうえ、溶剤等でふき取る。

3.ラワン、しおじ等導管の深いもの場合は、必要に応じて、工程2ののちに塗料製造所の指定する目止め処理を行う。

4.合成樹脂エマルジョンパテは、外部に用いない。

5.JASS 18 M-304は、日本建築学会材料規格である。

6.工程4 節止めにおいて、JASS18 M-304は合成樹脂調合ペイント及び水性系ペイントに適用し、それ以外はセラックニスとする。

表7.13.1 木部ラッカーエナメル塗り【B種】

| 工程 | 商品名 | 色相 | 混合比率 (重量比) | 希釈率(%) (重量比) | 塗装方法 | 塗付け量 (kg/m ² /回) | 塗装間隔 (20℃) |
|----------------|------------------|------|---------------|-----------------|------|--------------------------------|---------------|
| 1 下塗り | ウッドシーラー※ | クリアー | — | 適量 | スプレー | 0.10 | 2時間以上 |
| 2 研磨紙ざり | 研磨紙P220～240 | | | | | | 清掃後 |
| 3 中塗り (1回目) | ラッカー※ サーフェイサー | クリアー | — | 適量 | スプレー | 0.14 | 2時間以上 |
| 4 中塗り (2回目) | ラッカー※ サーフェイサー | クリアー | — | 適量 | スプレー | 0.14 | 2時間以上 |
| 5 研磨紙ざり | 研磨紙P320～400 | | | | | | 清掃後 |
| 6 上塗り (1回目) | DNTラッカーECO | 各色 | — | 60～100 | スプレー | 0.08 | 40分以上 |
| 7 研磨紙ざり | 研磨紙P320～400 | | | | | | 清掃後 |
| 8 上塗り (2回目) | DNTラッカーECO | 各色 | — | 60～100 | スプレー | 0.08 | 40分以上 |

(注) 1.素地ごしらの種別は、塗料その他の欄による。

※ ウッドシーラー、ラッカーサーフェイサーは弊社では製造していません。ご了承ください。

7.2.2 木部の下地調整

木部の下地調整は、表7.2.1により、種別は、特記による。特記がなければRB種とする。

7.13.2 木部ラッカーエナメル塗り

木部ラッカーエナメル塗りは表7.13.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

注意事項

* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版に掲載されている数値です。

そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。